



囲炉裏のある宿 - 飛騨の古民家を移築改装-  
**南飛騨 赤かぶユースホステル**

岐阜県の飛騨地域、下呂市に位置するユースホステル。JR高山本線・上呂駅から徒歩約15分、「特急ひだ」停車駅の飛騨萩原駅からは3kmほどで、送迎も可能(要事前連絡)。車の場合は、中央道・中津川ICから約60分、長野道・松本ICから約2時間の場所にある。下呂市内の観光はもちろん、高山へも気軽に足を伸ばせる。



〒509-2518 岐阜県下呂市萩原町上呂 2141  
 電話: 0576-54-1040 URL: <http://www.akakabu-wa.com/>



明治2年に建てられた古民家を移築改造したという「南飛騨 赤かぶユースホステル」。国道41号沿いにあり、公共交通機関だけでなく、車やバイク、自転車でのアクセスも抜群！



お話を伺ったマネージャーの尾藤政男さん(左)と女将のけさ子さん(右)ご夫婦。



*Youth Hostel Pick up*

**まじめに、がんこに、40年  
 何度も訪れたくなる飛騨古民家の宿**

**南飛騨 赤かぶユースホステル**

**飛騨川のほとり 山々の懐に佇む  
 築 120年の古民家ユースホステル**

岐阜県の中東部に位置する下呂市。日本三名泉のひとつ・下呂温泉を擁し、約3万人が住むこの都市は、2004年に5つの町村が合併して発足した。

古来、この地域の政治や文化の中心となってきたのが、今回訪れた萩原町(はぎわらちょう)。1586年には萩原諏訪城が築かれ、数々の神社仏閣が立地するほか、美濃から飛騨へ至る飛騨街道の「萩原宿」としても発展し、人々や物資が行き交ってきた歴史を持つ。御前山(ごぜんやま/標高 1,646m)や川上岳(かおれだけ/標高 1,625m)などの山々に抱かれ、飛騨川の雄大な流れが南北に貫くこの街は、時の流れを忘れてしまうような、落

ち着いた雰囲気にも包まれている。そんな萩原町の上呂(じょうろ)地区、国道41号沿いにある「南飛騨 赤かぶユースホステル」。建物は明治2年、1869年に落成し、ここ飛騨川のほとりに移築された風格漂う古民家だ。お話を伺うのは、マネージャーの尾藤政男(びとう・まさお)さん。岐阜で生まれ育ち、日本中を旅して巡った尾藤さんは、各地のユースホステルなどで旅人をもてなし、この場所で自分の宿をオープンさせた。今回は、訪れる人とのコミュニケーションを大切に、実直に営んできた赤かぶユースホステルの軌跡や、この宿ならではの魅力、40年以上の長きにわたって多くのリピーターに愛され続ける理由に迫っていく。

**ユースホステルを巡る自転車旅行  
 多くの大人が旅を支えてくれた**

尾藤さんが旅好きになった原点は、高校2年生のときに友人と出かけた、7泊8日の自転車旅だったという。「年会費の安い少年会員(当時)になって、ユースホステルを使って旅したんです。初めて泊まったのは、滋賀県にあった賤ヶ岳ユースホステル。その後も自転車で伊勢・志摩を訪れたり、3年生の夏には旧国鉄の「均一周遊券」で北海道へ。卒業旅行で九州を旅したのも良き思い出です」社会人になると、旅への思いは加速していった。目指すは、自転車での本州一周。給料を貯めて自転車やテントを買いそろえ、ついに20歳のときに会社を辞め、計画を実行に移した。

「旅行資金は、退職金を含めた6万円。各地の八百屋さんをコンビニ代わりにして旅をしていました。八百屋さんにはいろんなものが売っていて、豆腐で水分補給をしたり、店主から情報を得たり…。道中、飲み物をくれる人や、饅頭をくれる人もいましたね。『自分も昔は旅をした』『やりたくてもできなかった』、そんな大人が旅を支えてくれたんです」その後、調理師学校を卒業した尾藤さんは「手が足りないから」と声をかけられたことがきっかけになり、旧・浜名湖ユースホステルのサブペアレントとして働くことに。そこでヘルパーとして働いていた妻・けさ子さんと結ばれ、長野県のペンション・戸隠アスペンクラブに移り、支配人として活躍。商業高校時代に学んだマーケティングの技能を生かして辣腕を振るい、宿の業績を伸ばしていった。



## 利益はリフォームにつきこみ、設備を充実 快適でまた来なくなる人気宿に

いずれは岐阜県に、自分の宿を持ちたい。そんな思いを持っていた33歳の尾藤さんに、チャンスが訪れる。

「銀行員の先輩から教えてもらったのが、この物件でした。1年半で廃業した古民家旅館で、ほとんど居抜きで使える状態。事前に東海地区の旅行者の動向を調査して、宿をやるなら観光地である必要はないとわかっていたので、ここで開業することにしました。それに、貧乏旅行を何度も経験していたから、失敗は怖くありませんでした」

尾藤さんが設定した1年目の宿泊客数は1,800人。なんと誤差はわずか3人だったが、それ以降はどんどん良い方向に予想が外れていく。

「当初から意識していたのは、リピーターを大切にすること。お客さまは数年で目標の3,000人を超え、7年目には開業時の借金を返すことができました。バブル景気の時代でもあったので、周囲から値上げを勧められることもありましたが『若者の旅を助けたい』という思いで始めましたし、そんな景気がいつまでも続かないこともわかっていたので、価格は維持。それでも利益は出て、すべて館内のリフォーム・設備の充実につきこみました」

お風呂は天井から水滴が落ちない「総ひのき張り」でナナメに。子どもやお年寄りも使いやすい、通常より3cm低いテーブルや、体格の大きな人でも足を出さずに眠れる2m10cmの敷布団も導入。ユニバーサルデザイン概念が定着するはるか前から、快適に過ごしてもらえる宿づくりを進めた結果、4,000人、5,000人と宿泊客は増え続けた。



訪れたらぜひ食べてほしい「飛騨なっとく豚のしゃぶしゃぶ」は要事前予約！



「ドイツをイメージした」という食堂には、飛騨高山の木工作具が並ぶ。



政男さんお得意の切り絵は子どもたちに大人気！囲炉裏を囲むひとときは一生の思い出になる。



飛騨川を眺めるテラスにはキウイのグリーンカーテンがかかる。



年に数回開催される「気まぐれ寄席」。高座のめくりにかかれた寄席文字は多才な政男さんによるもの。



爽やかなひのきの香りが疲れを癒してくれる浴室は、貸切りにすることも。※要事前問い合わせ

## 「なんにもなくて、いいところ」 好奇心をくすぐる宿づくりを、ひたむきに

大きな梁や囲炉裏など、古民家の温もりはそのままに、リフォームを繰り返して、常に清潔で快適な空間が保たれている赤かぶユースホステル。裏庭には、飛騨川を望む21坪のウッドデッキもある。

「お客さまに『なんにもなくて、いいところですね』と褒められたのがきっかけでつくりました。なんにもないことが、財産なんだと思えましたね。自分の住んでいる土地だからこそ、軽く見てしまいがちですが、自慢できるところはたくさんある。隣の下呂市小坂町には210カ所もの滝があって『小坂の滝めぐり』として、県から第1号の『岐阜の宝もの』として認定されたんですよ」

まじめに、がんこに、愛される宿をつくってきた尾藤さん。宿泊者へさまざまなアクティビティの機会も提供している。長年の落語界とのつながりを生かして落語会「気まぐれ寄席」を開いたり、自ら紙切りや寄席文字を披露することも。手打ちうどんの指導や子どもたちを引率してのキャンプ開催など、まさに多芸多才だ。

「昨年妻とニュージーランドを旅したときも、着物とハサミ、筆を持って、旅行者や現地の方々と交流してきました。英語ができなくても、コミュニケーションできる材料を持っていれば、つながることはたやすい。この宿を訪れる皆さんにも、囲炉裏を囲んで積極的にコミュニケーションをして、好奇心を大切に旅をしてもらえたらと思います」

### A 大安食堂



地元で愛される、昔ながらの大衆食堂。ボリュームたっぷりの多彩なメニューを味わえる。特に、オリジナルのタレに漬けた豚バラ肉を焼いた名物「鶏肉のけいちゃん」は必食だ。

下呂市萩原町上呂876  
TEL:0576-54-1456

### B Siegfrieda(ジークフリーダ)



趣向を凝らした魅惑のスイーツがそろうパティスリー。木々に囲まれた瀟洒な店舗には、素材を大切にした手づくりのケーキや焼き菓子が、完全予約制のカフェも併設されている。

下呂市萩原町跡津1421-5  
TEL:0576-53-3020

### C 緑の館



創業50年を数えるコーヒー専門店。品質と鮮度にこだわった豆を自家焙煎し、甘さや豊かな香りを引き出している。アンティークとジャズに包まれて、至高の一杯を愉しもう。

下呂市萩原町花池125-1  
TEL:0576-52-3220



### 下呂市萩原町ってこんなところ！

飛騨街道の宿場町として江戸の昔から栄えてきた萩原町は、旧益田(ました)郡の中心的存在の街。約11,000人が暮らしている。臨濟宗妙心寺派の「十刹(じっさつ)」に数えられる禅昌寺や、飛騨国の二宮とされた久津(くづ)八幡宮など、多くの社寺が立地。2004年、近隣の小坂(おさか)町・下呂町・金山(かなやま)町、それに馬瀬(まぜ)村と合併して「下呂市」として市制を施行した。このページでは、南飛騨赤かぶユースホステルからアクセスしやすい、町内のスポットを紹介する。

### 下呂市萩原町おすすめ SPOT

### D 飛騨川公園



約7万㎡の広さを誇る河川敷公園。せせらぎが流れる親水公園を散策したり、芝生広場でつくるぐこともできる。季節の花々が彩る園内は、桜の名所としても知られている。

下呂市萩原町上呂2250-1  
TEL:0576-52-4313

### E 飛騨街道 萩原宿



JR飛騨萩原駅周辺には、飛騨街道の要衝としてにぎわった宿場「萩原宿」の面影が残る。明治時代の銀行建築「十六館」や蔵通りなど、由緒ある街並みを眺めてみては。

下呂市萩原町萩原  
0576-52-2880  
(萩原町観光協会)

### F 飛騨川温泉 しみずの湯



「四美谷(しみだに)の湯」「深谷(ふかたに)の湯」からなる天然温泉や薬草湯などをゆっくり楽しめる温浴施設。豊かな森の中で、心身ともにリフレッシュしよう。

下呂市萩原町四美1426-1  
TEL:0576-56-4326

読者プレゼント 抽選で **ペア宿泊券(1泊2日)1名様にプレゼント!**

ご応募は日本ユースホステル協会ホームページの専用お申し込みフォームから!

<http://www.jyh.or.jp/hmQ> 応募締め切り: 2025年2月末日

※当選者にはこの募集にご登録いただいたメールアドレス宛にご連絡いたします。  
@jyh.or.jpからのメールが受信できるように設定をお願いいたします。



日本ユースホステル協会は日本国内にユースホステルを設置・運営すると共に、国際ユースホステル連盟 (Hostelling International) や各国のユースホステル協会と協調し、知見を広める「旅」を促進する活動を行っています。

こどもはおとなに。  
おとなはこどもに、  
なれる場所。



# Hostelling Magazine vol.39



Cover Interview  
コウケンテツ  
世界中の食卓を  
旅した先にあったもの

P.02



Youth Hostel Pick up  
南飛騨  
赤かぶユースホステル  
まじめに、がんこに、40年  
何度も訪れたい南飛騨古民家の宿

P.08



Hostelling Magazine  
× 地球の歩き方  
遺跡を回り歴史を学ぶ  
エジプト古代への旅

P.12



鉄道写真家 櫻井 寛  
「列車で行こう!」

P.16



松島むうの  
晴れときどき旅びより

P.18



YH-GUIDE  
ユースホステルガイド  
長野県 / 岐阜県 / 愛知県  
三重県 / 滋賀県 / 京都府  
大阪府 / 兵庫県 / 奈良県

P.20



Hostelling Magazine vol.39  
まとめてダウンロード

※本誌の情報は 2024年12月20日現在のものです。変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地にお確かめください。

発行所 一般財団法人日本ユースホステル協会 編集・発行人 寺島 真

TEL (03)5738-0546 〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1国立オリンピック記念青少年総合センター内

※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。